



## 気候

- > 温室効果ガスの排出の削減
- > 再生可能エネルギーの採用増

地球規模で起きている気候変動を抑制すべく、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べ2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力を追求するパリ協定の目的を支持し、ファスニング事業における温室効果ガスの削減に取り組みます。

### GOALS

- 自社およびサプライチェーンにおけるCO<sub>2</sub>をはじめとした温室効果ガスの排出量を削減
- Scope1, 2**：2030年までに50%削減 (2018年比)
- Scope3**：2030年までに30%削減 (2018年比)
- 2050年に向け、温室効果ガス排出ゼロ（カーボンニュートラル）を目指す
- 製造方法と設備の改良、オペレーションと各工程の効率化を追求し、エネルギー使用量を削減
- 2019年以降、石炭使用設備の新設を廃止  
2030年までに全ての石炭使用設備を廃止
- ファスニング事業拠点に再生可能エネルギー発電施設を可能な限り設置
- Scope2の排出削減のため、外部から再生可能エネルギーを可能な限り購入
- Scope3の排出削減のため、2030年までにファスニング製品の繊維材料を100%持続可能素材（リサイクル材、自然由来材料など）に変更



## 資源

- > 持続可能な資源の採用増

ファスニング事業で製造される商品や、使用される梱包材における環境負荷を低減し、持続可能な素材へと移行することで、商品のライフサイクルを通じて発生する廃棄物を削減、石油由来材料使用の削減、および循環型社会の実現への貢献を目指します。

### GOALS

- ファスニング製品の繊維材料を、2030年までに100%持続可能素材（リサイクル材、自然由来材料など）に変更
- ファスニング事業で使用される全てのビニール/プラスチック製梱包材を、2030年までに持続可能素材や、回収・再利用など、持続可能な形態に変更
- 全ての製造拠点において、埋め立て、あるいは焼却される廃棄物の排出量を削減
- 2030年までに、廃棄物の再資源化率を90%まで向上



## 水

- > 水の利用量の削減  
排水管理の強化

深刻な水資源の枯渇・劣化問題に対し、ファスニング事業において取水量の削減や排水の環境負荷低減などに取り組みます。

### GOALS

- 水資源問題が懸念される地域の製造拠点において、水使用の効率化・再利用などの取り組みを通じて、取水量を削減
- 政府の規制および、ZDHC（有害化学物質排出ゼロ）のような業界基準をもとに制定した自社基準に従い、全ての製造拠点において排水管理を徹底



## 化学物質

- > 化学物質の管理と削減

将来世代にわたり豊かな生活を残すため、ファスニング事業に関わる化学物質による環境への影響・負荷を最小限にとどめます。

### GOALS

- ZDHC（有害化学物質排出ゼロ）のMRSL（製造時制限物質リスト）などの業界基準をもとに制定した自社基準（YKK RSL）に従い、製品製造における入口から出口までの化学物質使用を管理し、化学物質の使用削減を更に進める
- Standard 100 by OEKO-TEX®のような業界基準を順守し、製品における規制物質の使用を廃止
- 有害化学物質を削減し排除するような新しい製造方法を開発



## 人権

- > 人権の尊重と  
公正で安全な労働環境の維持

全ての人間の尊厳と権利を尊重するという世界共通の理念を重要視し、多様で持続可能な社会に貢献します。

### GOALS

- 多様性を認めた包括的な人権の尊重と労働環境の整備の徹底により、一人ひとりが個性を活かして働ける安心安全な職場環境をサプライチェーン全体で形成し、健康で幸せに満ちた生活を支援
- YKK精神「善の巡環」とISO26000にもとづいたYGCC（YKK Global Criteria of Compliance）監査を全YKKグループの製造拠点を中心に実施し、第三者機関による定期的な監査も実施することで、透明性を維持しつつ持続可能な活動への更なる改善を行う



# sustainability vision 2050

YKK's action plan for a sustainable future

※Scope1は自社の直接排出量、Scope2は電力など自社で消費したエネルギー起源の間接排出量、Scope3はサプライチェーンなど、その他の間接排出量